

令和元年 6 月 7 日

調布市立神代中学校学校便り



『むらさき』

6 月号

調布市立神代中学校長：高橋 剛三

<http://www.chofu-schools.jp/jindaichu>

『あいさつができ、素直に「ありがとう」と言える生徒』の育成を目指して

副校長 山田 勝

本校では、教育目標を受け、『あいさつができ、素直に「ありがとう」と言える生徒』を本校の【目指す生徒像】の一つとして掲げています。

この目標を考え、実践する機会の一つとして5月28日から6月3日までを「あいさつ運動」期間として設定し、今年度も取り組みました。生活委員が中心となり当番を決め、8：00から25分間正門付近で登校する生徒に声かけをしました。また、生活委員以外にも生徒会役員や各部活動、各学級ごとに協力して参加してくれて、全校体制での取組となっています。PTAの委員の方々や、地域の深大寺・上ノ原・北ノ台・柏野の各健全推進委員会の皆様にも協力して頂き登校してくる生徒にも「あいさつ」を意識してもらえる良い機会となりました。

「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」…人と人がその日出会ったときに交わされるあいさつ。その意義の解釈として「私はあなたがそこにいることを認めているよ」といった、他人との関わりを尊重しようという気持ちの表れと、とらえられるのではないかと考えながら、あいさつ運動に取り組んでいました。

短い、ほんの一瞬の感覚だけど心のつながりを感じられるフレーズ「おはよう」。素晴らしい言葉だと思います。「おはよう」と声を出して伝える関係なのか、伝えていい関係なのか、自信が無いときでも、こんな機会で色々な人と心を通わせられるこの取組。844人の生徒に843通りの心通わせるチャンスがそこにあると考えるだけでも嬉しくなります。

声を出して挨拶することが苦手な人も、「おはよう」の言葉を交わしている場を見て聞いて感じて、心が通い合っていることを感じてくれているかもしれません。こくりとうなずくだけでも、心の中で言葉を返すだけでもきっと心が通います。

家族同士と、仲良しな仲間や、クラスの仲間と…。自分にとって、居心地のいい範囲に差はあります。心通わせる自分の範囲を見つけられると良いとも考えました。

「おはよう」と声に出せることが、素直に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることができるようになる一歩目です。「おはよう」や「ありがとう」のととても簡潔な言葉ですが、気持ちの伝わる言葉の使い手名人となって、周りの人と心通わせられる生徒になって欲しいと思います。

10月末にも秋の「あいさつ運動」が行われます。そこで交わされる「おはよう」。

どんな気持ちで言葉を発し、受け止めてくれるのか楽しみにしながらその時を待ちます。

◇ 今月の予定

日	曜	予 定
1	土	
2	日	
3	月	あいさつ運動終
4	火	身体体力測定
5	水	
6	木	セイフティ教室① 進路講演会③ 耳鼻科検診②③
7	金	ハローワーク講演会②
8	土	学校公開、保護者会⑩
9	日	
10	月	全校朝礼
11	火	試験 1 週間前
12	水	
13	木	内科検診②⑩
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	期末テスト(英理音)
19	水	期末テスト(数社対)
20	木	期末テスト(国美技家)
21	金	球技大会⑩ 復習確認テスト③
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	耳鼻科検診①⑩
28	金	
29	土	
30	日	

第 7 3 回体育祭が行われました

5月24日(金)に、多数の保護者や地域の皆様に見守られ本校第73回体育祭が行われました。晴天の中、暑さが厳しい中でしたが、生徒たちは精一杯正面から行事に取り組んでくれました。ご来校ご参観ありがとうございました。

